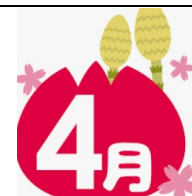


Y I A 会員だより 2021年4月号

発行 ; 吉野川市国際交流協会・広報部(Tel22-2271,Fax22-2270)

第196号 ホームページ URL <https://yia2020.net/>



【4月以降の活動予定他】

<2021年度総会>日時：5月9日（日）13:00～

※開催方法等の詳細は今後決定します。

場所：吉野川市文化研修センター多目的ホール

新年度スタートにあたり会長・各部長・会計より昨年の振り返りと今年の抱負について投稿を頂きました。

◆国際交流協会は地域で何をすべきか？ 萩森 健治

地域で増加する外国人との多文化共生が課題となる中で、国際交流協会に求められる役割は何か？

吉野川市内に住む外国人の動向、国の多文化共生の施策、吉野川市国際交流協会の現状、コロナ禍の制約などを以下のように整理してみました。

吉野川市内の外国人の動向

- ・人数は年々増加し415人に（2020年は微減）
- ・ベトナム、中国などアジア系が95%
- ・技能実習生が85%、企業では欠かせない働き手
- ・20～30代の外国人人口比率は6%

国の多文化共生への施策（徳島県も同施策を推進）

- ① コミュニケーション支援（日本語教育の推進等）
- ② 生活支援（教育、労働、災害対策、医療、住宅等）
- ③ 意識啓発と社会参画支援
- ④ 地域活性化の推進、グローバル化への対応（外国人住民との連携・協働、留学生対応等）

吉野川市国際交流協会の現状

課題：①外国人と市民との交流機会を増やす ②増加する日本語教育ニーズへの対応 ③外国人への情報提供 ④英会話など市民の国際化

問題点：会員の高齢化、会員数の伸び悩み、助成金の削減、英会話教室終了によるモチベーション低下

コロナ禍での活動の制約

- ① 感染防止対策をしながら活動
- ② 市民と外国人との対面での交流が難しい（阿波踊り、多文化交流会、歓送迎会、クッキング等）
- ③ 県外、国外への人々の移動や旅行が困難

このような条件下で国際交流協会として何が求められているのか？市内に住む外国人の皆さんにとって、国際交流協会は市民とつながる唯一とっていいほどの窓口です。誰でも楽しく出入りできる大きな窓口にしたいです。そのために、何をすべきか、何ができるのか、皆さんと考えながら活動して行きたいと思います。

◆2020年の振り返りと2021年の活動予定

支援部 新居博

支援部は、日本語教室の運営、英会話教室の運営支援、英語通訳ボランティアの三分野で主な支援活動をしています。

2020年度は、コロナウイルスの影響で活動が大きく影響を受けた年でした。4月から5月にかけて、日本語教室英会話教室が休講となり、7月以降川島英会話教室が休講となりました。

また、年間を通じて外国からの訪問者の激減のため通訳ボランティア活動も限られたものとなりました。しかし、このような環境下でも、6月からは十分なコロナ対策を講じたうえで、日本語英会話教室ともに再開し、年度を通じて活動することができました。さらに7月からは新しく山川公民館で日本語教室を開講することができました。また通訳ボランティアに関しては、リモート活動での通訳という新たな試みも行いました。

2021年度も、コロナ対策を十分に取ったうえで、引き続き市民および外国にルーツを持つ人たちのために、グローバル化社会に向かった支援活動を続けていきたいと思っています。

会員の皆様にはぜひ支援部の活動をご理解いただき皆様の積極的な参加をよろしくお願い申し上げます。



◆2020年の振り返りと2021年の活動予定

交流部 横山美津子

2020年は、どの部にとってもとても活動が難しい年でした。そんな中、10月初旬、鴨島小学校の国際理解授業でのメキシコ人と中国人の派遣のお手伝いできたことは幸運でした。続いて、10月下旬には、国際交流協会の細谷理事の「吉野川市における多文化共生を考える」をテーマに国際理解講座が開催されました。知っているようで実は知らない実習生の実情が理解されとても意味のある講座でした。毎年人気のバス旅行は、コロナを考慮し人数を絞り、日本語教室に来ている実習生を対象にショッピングモール、鳴門を訪れ楽しい思い出を作ることができました。12月には新居理事が、鴨島第1中学校の1年生を対象に毎年恒例になった授業の「グローバル化と異文化コミュニケーション」を実施し、好評を得ました。

2021年は、交流部のメンバーとしっかり話し合いやり方を工夫し実施したいと思います。阿波おどり、国際理解講座、大小の交流イベント、バス旅行、餅つきなどのイベントも今までのやり方を踏襲するのではなく、状況に合わせて工夫、応用できたらと考えています。



◆ 2020年度の振り返りと2021年度の取組みについて

広報部 瀬尾規子

広報部の活動は、毎月のYIA会員だよりの発行、機関誌「国際交流よしのがわ」の発行とホームページの更新です。会員だよりの編集は副部長の細谷さんが担当し、毎月熱心に記事を集めていただきました。おかげ様で、コロナ禍で行事が少ない中でも紙面を埋めることができました。萩森会長始め、紙面の作成にご協力いただきました会員の皆様に御礼申し上げます。会員81名のうち、クロネコ便は21通でした。4月からは18通になります。機関誌「国際交流よしのがわ」第17号は、紙面を見やすく明るくするため全ページカラーにしました。費用は2万円ほどの増額でしたので、今後も予算を考慮しな



がら全ページカラーで印刷したいと思います。ホームページは細谷さんに更新していただいています。とてもわかりやすい内容なので、日本人のみならず外国人にもアクセスしていただいていると思います。新規会員獲得のためにYIAの三つ折りリーフレットの最新版の発行を予定していましたが、取り組めませんでしたので、2021年度には最新版を作成したいと思います。皆様のアイデアをお待ちしています。

◆2021年の抱負～会計係から～ 三原 敦子

吉野川市国際交流協会の会計をして、3年目になります。新型コロナウイルスの流行前は多くの交流事業ができましたが、コロナ禍の中では中止や制約を余儀なくされました。

2021年はワクチン接種やウイルス対策の更なる徹底などから気を使いながらも多くの充実した交流事業が開催されることを願っています。

しかし市からの補助金も約15%減となり、また会員数の減少から会費の収入も減りつつあります。財政的には苦しくなりますが、会員の皆様のご協力を頂き、また皆様のご意見に耳を傾けながら、会計を進めていきたいと思っています。



吉野川市生涯学習課主催の英会話教室は3月末で終了しました。今後について投稿を頂きました。

◆英会話教室支援について 支援部 新居博

長年にわたり 生涯学習課主催の、ALTによる市内3か所で英会話教室運営をYIAは支援してきました。2020年度からの小学校の英語授業必修化などに伴い、学校でのALTの業務が増大している現状があります。英会話教室とその準備のための時間を含めるとかなりの時間を必要とするので現在の形での英会話教室を継続開催するのは困難ということで、負担を軽減するための方策を市役所とともに協議してきました。しかし、残念ながら、最終的に、現在の形のALTによる英会話教室は3月末をもって終了し、新たに、広く市民に開かれた英会話教室の開催にむけて準

備を進めるということが決定されました。支援を続けてきたYIAとしても非常に残念な結果ですが、市民であり会員である皆様には新たな英会話教室が開催される時は、市の広報やホームページで案内がありますのでよろしくお願ひします。

またALTの方々とは、在住外国人との各種イベント等を通して、今後も交流を続けていきたいと考えています。

◆鴨島教室初級と中級・川島英会話教室

合同イースター体験

瀬尾 規子

3月25日に、鴨島町時代から約30年間続いてきたALTの指導による市民向け英会話教室の最終講座がありました。最終講座では、2021年4月4日にイースターがあることから、メイガン先生とデクスター先生がイースター体験を企画してくれました。イースターはイエス・キリストの復活祭です。同時に春の訪れを祝う、春のお祭りでもあります。教室でお菓子の入ったおもちゃの玉子探しをしたあと、ゆで玉子でイースターエッグ作りを体験しました。玉子の表面にロウで絵を描いたり、輪ゴムを巻いたあと色付けしたりして、模様付きのカラフルなイースターエッグを作りました。そのあと、黒板に絵をかいて何かをあてるゲー



ムをしました。皆さん、絵が上手でした。最後にニコニコ笑って記念撮影をしました。

吉野川市教育委員会（学校教育課と生涯学習課）の方針により、ALTによる市民向け英会話は2020年度をもって惜しまれながら閉講となりました。2021年度からは、生涯学習課が新たに公民館講座を開講することですので、皆さんと再会できることを楽しみにしてお別れしました。

◆日本語教室のお花見

萩森 健治

お花見を予定していた3月28日は、あいにく朝から雨。ということで13:30に教室に集合して通常通りの授業を始めたところ、



雨が止みそうな気配。急遽14時過ぎに授業を終わりにし、20人（受講生13人、講師5人、受講生家族2人）が車に分乗して向麻山へ花見に。小雨の中、満開の桜を堪能しました。受講生らはいろんなポーズでたくさん写真を撮って盛り上がっていました。



YIA 定例活動 他

◆日本語教室 日本語で教えています。講師募集中！

【鴨島教室】 毎週日曜日 13:30~15:30 【山川教室】 毎週日曜日 10:00~11:30

お問合わせ先：萩森健治 ☎0883-24-8653